

【いきいきと健康に暮らせるまち】

川口 萌乃（かわぐち もえの） 堀金中

私は、堀金中学校二年、川口 萌乃です。

いきいきと健康に暮らせるまちグループでは福祉、健康などについて学習をしました。そこで、各議員から質問をさせていただきます。

私からは、障がい者との交流についてお尋ねいたします。

私は、障がいのある方が送っている、日々の生活の不便さをいろいろな人に知ってもらったり助け合ったりして、障がいのある方々が暮らしやすいような安曇野市を目指しています。

しかし、障がいのある方が苦勞したり、大変な思いをしたりしている時に、助けを求めているもどのような対応をすればよいのかを、周りの人達も分からず、結果的に知らないふりなどをしていることが多いのではないかと思います。

実際、友達に障がいのことで知っていることがあるか聞いてみた所、ほとんど知らないと言っていました。この様に障がいのある方が困っている時にどのように対応すればよいのか分からないことが課題だと考えます。

その課題がなぜ起きているのかというひとつに、学校や地域などで、障がいのある方の実態や困っていることなどを伝える場がないために障がいについて知らないことが多いということではないかと思います。

そこで私は、学校や地域などで障がいのある方や特別支援学校との交流を通して、障がいのことや日々の生活で感じていることを知る機会をつくっていくという方法を考えました。

その実現のため、市にお願いしたいことは、もっと学校や地域で障がいについて学び考える機会を作ることや講師の先生にお話をして頂く機会を作ってもらいたいと考えます。

そうすることで、笑顔のあふれる安曇野市になるのではないかと考えています。

以上で私からの質問を終わりにします。ありがとうございました。

(※答弁後のコメント)

【ご担当部】福祉部 福祉課

【いきいきと健康に暮らせるまち】

高嶋 穂波（たかしま ほなみ） 穂高西中

私は、穂高西中学校二年、高嶋穂波です。

若い方の健康推進についてお尋ねいたします。

私は、市民が健康に暮らせる安曇野市を目指しています。しかし、若い方の健康に対する意識が低いということを学習会で学びました。

その課題がなぜ起きているのかというと、自分の健康状態について考える時間が無いのだと思われます。今の若い方たちは、とても忙しく、睡眠時間も少ないと言われてます。また、自分の健康状態について知る機会がないと思います。

そこで、私は、簡単にできるがんの検診についてや、がん等の病気の恐ろしさを若い方に伝える講演会を小中学校などで開く、という方法を考えました。また、無料で検診ができる安曇野市のアプリをつくるという方法を考えました。ですが、アプリを作るだけだとあまり広がらないので、広告主へアクセスできる広告をつくり、宣伝してみるのはどうでしょうか。

その実現のため、講演の運営、アプリの運営を市にお願いできればと考えています。

そうすることで、病気の早期発見ができ、市民が健康に暮らせる安曇野市になるのではないのでしょうか。

以上で私からの質問を終わります。ありがとうございました。

(※答弁後のコメント)

【ご担当部】 保健医療部 健康推進課

【いきいきと健康に暮らせるまち】

深澤 佑菜（ふかさわ ゆな） 三郷中

私は、三郷中学校二年の深澤佑菜です。

生活保護制度についてお尋ねいたします。

私は、生活保護受給者が、将来的に社会復帰でき、いきいきと暮らせる安曇野市を目指しています。しかし、自分が思う課題は、生活保護受給者の中には、働けるのに働く意欲がない人もいるということです。

その課題がなぜ起きているのかというと、やはり、働かずともお金がもらえるからではないかと思います。

そこで、私は生活保護受給者に、一つでもよいから、社会、市、地域のためになるボランティア活動をしてもらうという方法を考えました。

そのために、市にお願いしたことは、生活保護受給者のボランティア活動の場を設けていただくことです。そうすることで、「役に立った」など達成感を感じ、社会復帰に少しでも近づくとと思います。また、働きたくても働けない人や、負い目を感じている方もいるかもしれません。そんな方にも、役に立つことができたという気持ちになってもらえると思います。

しかし、全ての人が同じ活動をできるわけではないと思います。ですが、いくつか活動の候補をつくり、一人一人ができる活動を増やしたらよいと思います。

そうすることで、みんながいきいきと、やりがいの感じられる生活ができる安曇野市になるのではないのでしょうか。

以上で私からの質問を終わります。ありがとうございました。

(※答弁後のコメント)

【ご担当部】福祉部 福祉課